社会福祉法人　ひまわり　広報部発行　杵築市　ひまわり　検　索
0978-52-2233　0978-66-5500　http://www.wel-himawari.net

社会福祉法人ひまわり理念

・利用者の尊厳を守り、敬愛の精神で接すること
・地域福祉の拠点となり、開かれた施設として地域に貢献すること

基本方針

・利用者のあるがままの姿を受入れ、見守り、優しく安らぎのある施設にします
・利用者の意思を尊重し、利用者の立場で考え、安全で平等な援助に努めます
・地域の関係機関と連携し、地域福祉の推進と向上を目指します
・社会で通用する接遇を修得し、利用者に明るく気持ちの良い態度で接します
・日々向上心を持って、専門機能の研鑽に努めます

慰安旅行

5月15日より社会福祉法人ひまわりと医療法人大生会の慰安旅行が始まりました。今年は3班に分かれ、大宰府や福岡タワー、唐津、呼子を観光します。既に旅行を終えた第1班の職員からは「大宰府でお土産に買った『学問のスルメ』というイカが美味しかった」「呼子の朝市で買ったイカの一夜干しの試食が美味しかった」「2日目の昼食で食べたイカの活き造りが美味しかった」とイカが美味しかった感想ばかりでしたが、旅行を通じ法人、事業所を超えて交流が図れましたし、職員にとって良い息抜きになり、また来年の慰安旅行まで頑張ろう！と励みにもなってます。来年の慰安旅行も楽しみですね！

瑞雲荘

御家族並びに関係者様へのお願い

食中毒の季節がやってきました。毎年の事ながら、またこの到来かと気持ちが沈みますが、食中毒を起こさないように、職員全員で予防の徹底をしている所です。

ご面会に来られる皆様のご協力へのお願いでございます。ご面会の際、入所者様への差し入れとして食べ物を持ち込まれる方も居られます。持ち込まれる際は、必ず職員に声掛けをお願い致します。季節柄、持ち込まれた食べものは当日、その場で消費できる量等の配慮を併せて宜しくお願い申し上げます。

特別養護老人ホーム瑞雲荘
施設長　利光和彦

母の日のプレゼント

瑞雲荘では5月10日の母の日に感謝の気持ちを込めて女性利用者様へカーネーションの花をプレゼントし、記念写真の撮影を行いました。皆様とても素晴らしい笑顔でカメラに収まって頂き、女性利用者様から「こげな美しい花を貰って本当にうれしい！」や「この花に負けんごと私も頑張らないかんわあ」との感想を頂けました。

また、ある独身男性職員は女性利用者様方が大変喜ばれている様子を見て「やはり女性は幾つになられても花をプレゼントされると嬉しいものなのだな、参考になるなあ」との言葉がありました。

第 97号　社会福祉法人ひまわり　広報誌　－ひまわり－　平成　27年　5月　20日

訪問看護通信

きつき訪問看護ステーション

どうしたらいいの？薬の飲み忘れ～

喉元過ぎれば熱さ忘れるではないですが、病気の時は忘れずに飲む薬も症状が軽くなるとつい飲み忘れてしまう事はございませんか？今回はそんな時の対処法をご紹介します。基本的には「気付いた時点で服用し、次の服用時間をずらす事」です。時間をずらす目安は、1日3回服用する薬の場合は4時間以上、1日2回の薬の場合は6時間以上、1日1回の薬の場合は12時間以上をあける事が理想です。

その理由として、薬を続けて飲むと体内での有効成分濃度が以上に高くなり、副作用の発生に繋がる恐れがあるからです。飲み忘れたからといって一度に二回分服用するのは絶対にやめましょう。慢性疾患を持つ人や高齢者は一度に服用する薬の種類・量が多く、飲み忘れや二重服用を起こしやすくなりますし、また、服用時間が違う薬をバラバラに管理して出し入れすると、どの薬をどこまで飲んだか分からなくなる事もあるのではないでしょうか？

服用時間が同じ薬を1回分ごとに小分けにしたり、ポケットがついたお薬カレンダー等の使用したり、薬を一包化にしてもらう等の飲み忘れない為の工夫をしながら上手にお薬と付き合っていきましょう。

木元

教えて！どんな資格？

今月の「教えて！どんな資格」は福祉住環境コーディネーターを紹介します。福祉住環境コーディネーターとは高齢者や障害者に対して住みやすい住環境を整備するためのコーディネート（調整役）で、従来だと建築なら建築、介護だと介護、医療だと医療など、住環境整備に必要な要素が抜け落ちやすいところを、それぞれの立場を理解し、その仲立ちをする事で、より利用者並びに利用者のご家族の立場にたった住環境整備を円滑化するための知識を得る民間検定試験です。1級から3級があり2級以上を取得すると、介護保険を利用した住宅改修を行った際の必要書類である「住宅改修が必要な理由書」を作成することが認められています。ひまわりでは、ひまわりハウス重松相談員他数名が取得しております。重松相談員によると「例えば病院でリハビリを経て退院し、自宅に戻られても、病院と自宅とでは環境の違いが大きく、在宅での自立した生活が困難になるケースが多々あります。それを解消するためにも住環境の整備はとても重要です。この資格を取得した事で様々な視点から住環境を見る事ができる様になりました。」との事でした。

編集後記

春も過ぎ、最近は初夏のさわやかさも感じる季節になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか？私は相変わらずです。さて、先日とある利用者様を車に乗せ送迎している時の話です。認知症からか、おなじ話を三回繰り返した後に「でもね、楽しかった想い出があるんで幸せですよ。」との言葉を聞きました。その言葉を聞いて故中島らもさんの『僕に踏まれた町と僕が踏まれた町』って本の中の「何十年に一回くらいしかないかもしれないが「生きていてよかった」と思う夜がある。一度でもそういう事があれば、その思いだけがあればあとはゴミくずみたいな日々であっても生きていける」って言葉を思い出しました。そう確かに僕の過ごす日々はゴミくずとまでは言いませんが、いまいちパッとしないものです。財布があるのについつい肌銭をしてしまい見事に千円札を落としてしまいました。年に3千円は落としていますね。また、便意をもよおしトイレに駆け込むも便座をしっかり確認しておらず、便座が全開でお尻から洋式トイレに落ち込み、思いがけず半身浴になることが年に2回はありますし、パソコンへのUSBの差し込みも確立としては1/2で成功するはずなのに8割がた逆に差し込んでしまいますし、痛風持ちだし、睡眠時無呼吸症候群だし、メタボリックだし、広島カープは勝てないし、もう本当に「なんだかなあ」という言葉しかでません。けれど、「生きていてよかった」と思う出来事は何個かありますし、それを思い出すと今生きていける理由ってそんなところにあるんだろうなと感じる今日この頃です。

高尾

毎月二〇日発行　編集責任者　社会福祉法人ひまわり　高尾毅1

ひまわりハウス

お城祭り

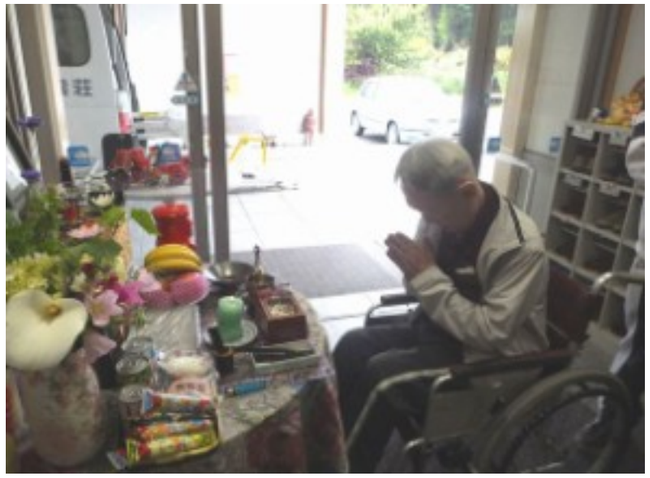
5月4日にお城祭りに4名の利用者様が出かけました。向かう道中では「楽しみやな～」「知り合いが来てるかも」と、とても楽しみにされている様子。到着すると知り合いやご家族、地域の方などから声をかけられる利用者様が多く「久しぶりやな～」「あんたも来ちょったんかえ」「ここで会えると思わんかったわ」と皆様嬉しそうに話をされていました。出店やイベント等を皆様それぞれに楽しまれていました。楽しい時間はあっと言う間に過ぎ、「もう帰る時間か？」「もうちょっと居たかったわ！」と皆様口々に言われていました。今後も地域の方との交流や皆様に楽しんでいただける行事を計画しますので楽しみにしてください。

母の日

ひまわりハウスでは母の日にささやかではありますが女性利用者様に折り紙の指輪をプレゼントしました。おひとりおひとりにお渡ししながら、ご自身の母親への思い出を語っていただきました。「とってもやさしい母でした。母のようになりたいと思いながら今日まで来ましたが、まだまだです」、「生母は小さいころに亡くなりましたが、新しい母にとてもよくしてもらいました」、「7人の兄弟を一生懸命育ててくれた母には感謝しかありません」、「厳しかったですよ」、「早くに父が無くなったので母はとても苦労したと思います」と思わず涙ぐまれる方、などなど、日頃は無口な方も含めて、どなたもあつくお話して下さいました。「お母さん」を慕う子どものころのみなさんのお姿が目に浮かぶようでした。父の日でも皆様に喜んでいただけるようなイベントを考えています！職員も親への感謝の気持ちを再確認できた1日になりました。

お接待

5月9日に利用者様たちが楽しみにされていたお接待に出かけました。午前と午後に分かれて三楽園と狩宿と大内、灘手の公民館をまわりました。お接待そのものも楽しまれましたが、三楽園では懐かしい方々たちの再会で話がはずみ楽しく過ごされた利用者様もいました。皆様、ひまわりハウスに帰り着くと「楽しかった。」「お菓子やらこんなにもらえたわ」と嬉しそうに話してくださいました。来年はひまわりハウスでもお接待菓子を出せればと考えております。



第 97号　社会福祉法人ひまわり　広報誌　ーひまわりー　平成　27年　5月　20日

三楽園デイサービス

ドライブ

三楽園では、利用者様に新緑に触れ、自然を満喫して頂こうと毎年ドライブを企画しております。今年は国東市武蔵町、小城山展望公園。天候にも恵まれ山から見下ろすと中央に大分空港が見えます。海の向こうには、うっすらと四国の山々も見え、見ごたえのある景観でした。「ここに来たのは、はじめてや、いいとこやな」と利用者の皆様、満足された表情で眺めておりました。

お接待

5月9日に毎年恒例の三楽園お接待では行いました。一般の方々や、瑞雲荘利用者様、きつきの里利用者様、ひまわりハウス利用者様等たくさんの方々が参拝にみえました。三楽園の利用者様方も「何処から来たんかえ？」「また来ちょくれな」等声を掛け、楽しく過ごされていました。たくさんのご参拝有難うございました。

節句御膳

5月5日は子供の日。三楽園では、この日の昼食に節句御膳（ちらし寿司、お刺身、茶わん蒸しなど）にビールやジュースを添えて、お出しし、利用者の皆様とお祝いを致しました。

きつきの里デイサービス

カラオケ

きつきの里デイサービスでは毎日午後よりカラオケの時間を設けています。時間が近づくと誰からともなくカラオケの前に集まって歌合戦が始まります。「職員さん、何か曲を入れちょくれ」「あんた、『さざんかの宿』歌とうちょくれ」等他の利用者様方にリクエストされる方もいらしたりと皆さまご自分の得意な歌で自慢の喉を披露して下さっています。